

フレキシブルなコーティングおよびグラウト

コンクレッシブ 1064

技術資料

製品の種類

二成分形の溶剤を含まない速硬化形エポキシ樹脂コーティング剤で、コンクリートの膨張収縮による応力を緩和します。コンクリートの防水塗装や高速道路、橋梁デッキ、歩道、作業床などなどのスリップ防止に骨材を散布し接着する用途に適した製品です。

特徴

- 硬化樹脂は弾性があり低温でも柔軟性があります
- 耐水性のよい性能と経済性に優れたコーティング剤です
- 硬化時間が速く、低温環境での施工に優れています
- 凍結融解をうける環境で耐久性が優れています

長所

- 粘度が低くエアレススプレーによる施工ができます
- 速硬化性で施工時の使用停止時間が短縮できます
- コストパフォーマンスに優れた製品です
- 硬化樹脂は弾性があり引張り伸び率が大きい製品です

用途

コンクリート、鋼材、木材表面のスリップ防止用骨材の接着。道路縁石の接着。コンクリートやアスファルト舗装のケーブル取り出し部シール（空港のセンターラインケーブル等）。コンクリート構造物の保護コーティング。

塗布量

(参考値) 平滑な面：0.4 kg/m² 粗い面：1.2 kg/m²

製品の性状*1

状態	二成分の粘稠液		
色相	A 剤：灰色、	B 剤：褐色、	混合物：灰色
見掛比重	A 剤：1.18±0.1	B 剤：0.92±0.1	混合物：1.05±0.1
粘度 mPa.s	A 剤：3,400±1000	B 剤：2,800±1000	混合物：3,200±1000
混合比 (体積比)	A剤：B剤 = 1：1 [重量比； A剤：B剤 = 1.3：1]		
包装単位	20, 32, 34 リットル入りセットペール缶		
有効貯蔵期間	32℃以下、密閉容器で12ヶ月		
最低使用温度 ℃	5		

※ 標準的な性状を示すもので規格値として保証するものではありません。

硬化時間と温度の関係*2

可使時間	分	10 ℃	20 ℃
	100 g	25	14
	3リットル	20	12
タックフリー	時間	15	8
完全硬化	日	8	5

(品質改良のため、予告なく記載事項を変更することがあります)

*1 標準的な性状を示すもので規格値として保障するものではありません。

*2 硬化時間は代表的な数値を示したもので施工環境により異なる結果となる場合があります。

う正確に計量してください。規定の混合比を外れると、強度の低下や硬化不良による性能低下の原因になるので十分注意してください。

各成分の混合は、低速のドリル型塗料用ミキサ（攪拌速度：400～650rpm）で均一になるまで混合してください。混合に必要な攪拌時間は、通常の場合3～5分間です。混合した材料は、縞模様や色むらがなく全体が均一な灰色でなければなりません。

塗布方法

保護コーティングの施工： 金属、木材あるいは金鍍仕上げした平滑なコンクリート面では、毛の硬い刷毛または毛の短い塗料用ローラーを使用すれば、1リットルのコンクレッシブ1064で約2.5㎡塗ることができます。塗装作業のできる時間は、25℃の場合15分以内ですから、施工時の温度によりますが一回の混合量は少量（3リットル程度）づつ行うか、二液型のエアレススプレーを使用してください。塗膜のピンホールをなくすには一層塗りより二層塗り以上の重ね塗りが必要です。十分な防水効果をもたせるには、塗膜の厚さは150～250μmなければなりません。二層目は一層目の指触乾燥後ただちに塗布してください。塗膜の接着をよくするため、塗布間隔は最大でも次の時間以内に行なってください。

15℃	の場合は	72時間
25℃	の場合は	36時間
30℃	の場合は	24時間

冬期に製品の温度が低下し、取り扱いが困難になった場合は、製品の温度を15～20℃まで加熱昇温した後で使用してください。エアレススプレーを使用して塗布する場合は、一層ごとにスプレーガンをクロスさせる方向に塗り重ねれば、ピンホールの発生を防止することができます。

チップシールの施工： 柄の長いゴムワイパで、混合した材料を塗布面全体に塗り広げてください。広い面積の施工では二液型のエアレススプレーの使用をお勧めします。コーティングできる面積は、多孔質な面や平滑面など表面状態で異なります。一般のコンクリート面では、1kgの材料で0.8～1.2㎡塗るのが適量です。アスファルトや鋼材の表面もコンクリートの場合と同程度の厚さに塗布します。アスファルトコンクリートの基盤は、過密な交通で亀裂ができないように十分圧蜜しなければなりません。塗布作業に際しては、水が浸透するようなピンホールができないように、十分注意して施工してください。

骨材の選択： 酸化アルミニウム、金剛砂、焼成ポーキサイトなどが耐摩耗性で優れています。軽車両や歩行者の通行するところでは、乾燥した丈夫なシリカ砂が使用されます。米国の高速道路で通常の場合使用する骨材は、硬度がモースケールで8以上のものが使用されています。粒度では次に示すものが適しています。

標準シープNo.	通過重量%
1/4 ｲﾝﾁ	100
6	97～100
8	55～75
16	0～3

混合した骨材は粒度の小さな骨材を含まないように注意してください。小さな粒度の骨材は、薄い塗膜でも毛細管状の間隙を形成し『吸い上げ効果』を起こすため、塗膜の形成や接着に障害を生じることがあります。また、大きい粒度の骨材はコーティング層が薄いと、強固に固定されず通行によりすぐに剥離を起こすことがあります。

骨材の散布： 散布は、乾燥した骨材を塗布面に均一に撒き広げてください。この際は未硬化の樹脂が骨材で流されないよう垂直に落とすことが大切です。骨材の散布量は、表面の骨材が樹脂で濡れなくなる程度の量が必要です。大きな荷重がかかる部分は、0.6～0.7㎡/kgのコンクレッシブ1064と6～7kg/㎡のポーキサイトが必要です。

骨材散布後は表面の樹脂が十分に硬化し、交通の荷重を支持できるようになるまで、全ての車輛や人の通行を中止しなければなりません。樹脂が硬化したなら、過剰の骨材を掃き集め除いてください。集めた骨材は、乾燥状態で汚れがなければそのまま再使用することができます。

洗 浄

作業の際周囲に付着した余分な材料は、硬化する前に取り除いてください。周囲に付着した樹脂は、ウエスで拭き取った後、溶剤で拭き取ればきれいになります。一般に使用される溶剤は、メチルエチルケトン、エポキシシンナーなどです。溶剤は揮発しやすく、可燃性ですから十分な換気と火気に対する注意を厳守してください。硬化したエポキシ樹脂を器具から落とすには、機械的に掻き落とすかエポキシストリッパーを使用しますが、完全に硬化した樹脂の除去は困難です。

使用上の制限

施工中および硬化反応の間、周囲温度または接着面が5℃以下になる場合、濡れた面や湿気のあるところでの使用はおすすめできません。コンクレッシブ1064は、水、海水、路面の油分など腐食性が少ないところで使用してください。

接着の用途に使用する場合は、非構造用部分に限定してください。

取り扱い上の注意

この資料は、製品には添付しておりません。取り扱い上の注意、応急処置は容器のラベルをよく読んでください。製品はエポキシ樹脂とアミン類を含んでおり、硬化する前は刺激性と臭気があり、人によってはアレルギーを起こすことがあります。

製品が含有するエポキシ樹脂は、厚生労働省通達による変異原性が認められた化学物質です。蒸気の吸入や皮膚に触れると、中毒やかぶれ、その他健康を害する恐れがあります。またアミン類は皮膚に付着するとかぶれや薬傷を起こす恐れがあります。吸入すると中毒や重い健康障害を起こす恐れがあります。取扱いは十分に注意してください。

飲み込むと健康に害があります。取扱いは換気のよいところで行ってください。狭い室内や、通気の不十分なところでは、強制換気が必要です。皮膚を保護するため、クロデックスクリームなど保護剤の使用をおすすめします。手や腕に樹脂が付着するのを防止するため、ゴム手袋やネオプレンなど手袋を着用してください。皮膚に付着したときは、直ちに石鹼と水で洗い落としてください。眼に樹脂が入った時は、直ちに15分間流水で洗浄し医師の手当てを受けてください。作業終了後は、石鹼と水でよく洗い、十分にうがいをしてください。

製品の性質や取り扱いについて詳細な内容が必要な場合は、安全データシート(SDS)を参照してください。

この資料に記載した事項は、弊社の経験から信頼できるものと確信しておりますが、ご使用になる方々の使用条件は、それぞれ異なると思われるので、これらの資料に基づいて得られる結果、および他社の特許上の制約については、十分ご検討のうえご使用下さるようお願いいたします。

万一製品が不良であると認められた場合は、その製品のお取替え、または製品の返却により、購入代金をお返しいたしますが、それ以上の責はご容赦いただきます。



本 社 〒243-0018 神奈川県厚木市中町2-6-10

TEL 046(221)3388 FAX 046(224)0962

工 場 〒385-0883 茨城県つくば市みどりの東18-1

TEL 029(839)1005 FAX 029(836)3851

Rev2. 2017. 10. ATB-201